

にんぎょうげきだん

ののほな



やわらかく



あたたかく

ちいちいにんにん

(ちいさい子どもたちのための小さい人形劇集)

* 幼児と乳幼児では構成が異なります。(幼児45分・乳幼児35分)

児童福祉文化賞
最優秀賞
受賞作品

作・構成・演出・音楽 納富俊郎

対象：1才～小学3年生

-5つのおはなし-

- 1 かばのかっちゃん
- 2 いたいいたいのとんだけ
原作 平出衛 (福音館)
- 3 むしゃむしゃくん
- 4 わたしのおじいちゃん
原作 天野祐吉 (福音館)
- 5 くねくね

小さい子を対象に作った作品ですが、
小学3年生くらいまでは喜んで見ます。

0才～2才中心
の時は40組まで



—作品について—

この人形劇は、ふれあいをテーマにして作った作品です。乳幼児から見ることでできると、むずかしいお話やセリフでの説明をなるべく避けて、美術的な表現と動きで楽しさを伝えます。身近な材料から作られた人形がお芝居をします。ぬいぐるみをつかんで動かす人形劇は、見終わった後で、お母さんや子どもたちが、お家の人形などでのおそびに発展するようにと、演じます。

「ちいちいにんにん」の感想

おしばいの最後に「はい！こちらこそ！」と思わず声をかけた3歳半の息子の母です。人形の世界に入り込み、ケタケタ、ゲラゲラ笑う我が子。お人形さんに素直に話しかける我が子。そんな姿を見れば、キレイに透き通った純粋な心に分れることができ、とにかく何故だかすごく感動してしまいました。親バカなのでしょうか、本当に本当に、素直な我が子に、涙が出るくらい、感動したわけです。この先、このまま素直な息子で成長してくれるのを願ひ、そんなわけにもいかないと、楽観的な部分も含め、今の素直な息子に向き合わせて下さったおしばいに感謝します。子どもってこんなにキラキラとしたキレイな瞳をするんですね。家に帰っても、笑いだす息子。お人形さんたちの事を、思い出し笑いしていました。(岐阜での公演の後、手紙が送られてきました。)